

# 事業報告書

団体名： 亀岡みらいパース

<b>1. 事業名</b>	「みんなで作ろう！亀岡の未来図」 ・ 亀岡の魅力を話そう「亀スゴっ！」(6回シリーズ) ・ 亀岡ソーシャル大学「流域文化と観光」(2回シリーズ)
<b>2. 実施内容</b>	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>○亀スゴっ！(6回シリーズ)</p> <p>第1回「野鍛冶職人一筋 片井操さんを囲んで」                  5月31日(土) 14時～16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者50名</p> <p>片井さんの貴重なお話と共に、京都学園大学鍛冶屋倶楽部のみなさんによるDVD上映とお話し、亀岡市文化資料館職員による資料説明等がありました。</p> <p>全国でまちの鍛冶屋が姿を消して久しいなか、既製品にはない、味のある道具をみなさんで手にとり確かめました。メンテを繰り返すことで一生モノの道具を作られる野鍛冶職人片井操さんが亀岡のまちに今も健在でおられることは、貴重な財産であることは勿論ですが、片井さんのお人柄の素晴らしさを会場参加者一同が心に刻んだひとときでした。</p> <p>当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。</p> <p>第2回 「亀岡農業若き担い手たち」                  7月19日(土) 14時～16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者60名</p> <p>京野菜の主要生産地亀岡ですら、後継者不足、高齢化が云われています。そのような中、亀岡盆地にしっかりと根を張り農業を担う、亀岡農業の財産とも云える若き担い手たちに、農業へのビジョン、そしてそれぞれに高い評価を得ている農産物への思いを伺い、将来の亀岡における農業について話し合いました。</p> <p>☆元四季彩シェフ井内美智子さんによる、ゲストの野菜を使った野菜料理のふるまいもありました。</p> <p>・ゲストプロフィール</p> <p>【平井孝彦さん/とうかげん代表】                  亀岡市旭町。2010年亀岡で新規就農。無農薬・無化学肥料・循環・自給自足が基本方針。家族に安心して食べてもらえる野菜を届けたいと考える。多品目の野菜を育て、野菜セットを亀岡、京都、大阪などに自分で宅配している。</p> <p>【藤村早苗さん/藤村種苗園勤務】                  亀岡市余部町。曾祖父の代からの家業、種苗園を家族とパートさんと営む。亀岡、能勢、南丹など地域一円に販売。農家だけでなく、丁寧で明るい接客で育て方のアドバイスもし、家庭菜園、ガーデニングのガーディナーたちをも下支えする。野菜ソムリエの資格を持ち、若手農家の交流活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>【林広計さん/自然農法・林農園代表】                  南丹市八木町。自然農法センターで20年近く有機農業の研究、農家の指導に従事後、2007年亀岡市にて開園。農薬化学肥料動物性堆肥を一切使用せず、植物由来の有機物を中心とした土づくりを活用し年間50～60種の野菜を栽培。「身土不二」の美味しい野菜を提供出来る事を目指す。現在小学生のお子さん二人の4人家族。</p> <p>【大江広一郎/べじたぶるぼーと代表】</p>	

亀岡市本梅町。2010年亀岡で新規就農。無農薬、無化学肥料で有機農業を行い、京都、亀岡に自ら車で野菜を届けに行くスタイル。毎回、宅配の野菜に添えられた手書きのイラストと川柳なども好評。亀岡みらいパースメンバー。

大江広一郎が3人のゲストに質問しながら進行しました。

「農業を始めようと思ったきっかけは?」「農業で食べていけるのか?」「どうやって販売しているのか?」など具体的な話を色々と伺い、3者それぞれがしっかりとした信念を持って農業に取り組んでいるのが伝わってきました。

また農業の話だけでなくそれぞれの人間的な魅力も垣間みることができたと思います。

種苗屋は農業に関わる人が大勢やってくる中継地点のようなもので、人と人とのつながりを次の世代にも伝えていきたいと藤村さん。自分の畑の野菜から種まで取って次の野菜につなげる平井さん。農業人口を増やすためのサポート体制の大切さについて語る林さん。

来場者の方々も農に興味がある方が多いようで、真剣な目で話を聞いておられました。

休憩中に会場の皆さんに試食して頂いたゲストの野菜を使った野菜料理も大好評でした。

亀岡野菜のおいしさを確認し消費者としても生産者や農業についての関心を高められた企画となりました。

当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。

### 第3回「ワクワク亀岡仕掛け人たち」

9月27日14時～16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者65名

こんな集まりがあるから、このまちが好き!今年、亀岡をワクワクさせている集まりの主催者たちを紹介しました。「賑わい」「文化」「ふれあい」・・・言葉の中身は人が創ります。亀岡ならではの自然環境、力を合わせる市民の和、そして主催者たちの豊かな感性や優しさが詰まってそれぞれの形となりました。

各主催者たちに取り組み内容、これから目指すところなど大いに語って頂き、参加者も亀岡のまちで展開する多様な企画の魅力を発見する機会となりました。

ゲスト

「亀岡マルシェ」 亀岡市保津町

ジョニー ブルースさん (亀岡サンセットフェス実行委員会代表 ブルースハーブ奏者)

八木 政治さん (同 副代表 書家)

アーティストやミュージシャン・パフォーマー達が集い亀岡の第一次産業と飲食に着目し地域活性化を目的とした、「亀岡マルシェ」を企画。保津川河川敷に約5000人強の来場者が集まった。当日は「亀岡マルシェ」の準備から開催後の効果も含めたお話と johnny blues band のお二人による生演奏もあり会場が一体となって楽しめました。

「くらしと育ちの森そらまめ・もりのわ」 亀岡市篠町

石田 千穂さん (くらしと育ちの森そらまめ 呼びかけ人)

鈴木 健太郎さん (暮らしの学び舎もりのわ運営スタッフ)

「そらまめ」は自主運営の手づくりの学校。子どもたちが生き生きと学び、遊び、自分らしい生き方を楽しむ力を育むことを目指して、平成26年4月に開校。「もりのわ」は「そらまめ」と同じ隅田農園のフィールドを使い、自給自足の知恵や技術を身に付けるための学びの場を企画・運営。亀岡初の取り組みに注目が集まる。お二人の子育て、教育、環境への思いなど熱く語って頂きました。

「 楽笑会 」 亀岡市東本梅町

森 英雄さん (楽笑会代表 電気工事事業主)

竹内 博士さん (楽笑会呼びかけ人 研修講師)

「たくさんの人と楽しく集いたい」というシンプルな主旨のもと、異業種交流会、石釜ピザパーティー、婚活、野菜栽培教室、料理教室など多彩な賑わいの場づくりを行う。古民家を再生した会の拠点を8月末にオープンさせた。今までの経緯、会に込める意気込みや、インターネット やメールを介さないアナログに徹した関係づくりについて語っていただきました。

第4回 天然砥石と研ぎの文化

11月29日(土) 午後2時～4時 場所法華寺(亀岡市本町67) 参加者40名

ゲスト 土橋要造さん(東本梅町)

天然砥石採掘製造販売 砥取屋 当主

亀岡産出の天然砥石は日本食の評価の高まりと共に世界的にも注目される貴重な天然資源です。

鎌倉時代から培われた800年の歴史の灯を消さぬよう、後世に良品を残したいと、家業の天然砥石 砥取家を継承されている土橋要造さんにお話し頂きました。

研ぎ文化振興協会による、砥石採掘現場等のDVD上映、砥石の使い方の実演、砥石で研いだ包丁の切り口と味の変化を体験する研ぎ比べもありました。

日本固有の砥ぎ文化は、和食を生み出す包丁や宮大工の鉋などのさまざまな刃物と密接な関係にあり、日本文化を支えていると言っても過言ではありません。

亀岡が貴重な砥石産出地であることと共に砥ぎ文化の素晴らしさを学びました。

当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。

第5回「亀岡ハーブと盲導犬クイールと」

2月7日(土) 14時～16時 場所市役所市民ホール 参加者30名

ゲスト

久保末子さん NPO 法人青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部理事長

関西盲導犬協会の職員と盲導犬のPR犬

朗読ボランティアコスモスの会のみなさん

久保末子さんはボランティア活動への理解、支援のない中で亀岡市のボランティア活動の草創期を作り上げ、その活動は亀岡市のボランティア活動、市民活動の礎ともなりました。

そのような活動の経緯を語って頂き亀岡の特産品かめおかハーブのクイールサプレの由来を知りました。

関西盲導犬協会(亀岡市曾我部町)

今年創立35周年を迎える関西盲導犬協会の職員と、クイールのふるさと関西盲導犬協会でクイールの後を継ぐPR犬も登場し、実演と共に盲導犬の育成、活動について学びました。

朗読ボランティアグループ「コスモスの会」

朗読ボランティア活動の様子をお伺いし、実際の朗読の仕方を実演と共に紹介頂きました。

### 第6回亀スゴっ！「料理教室！」

平成27年3月2日（土）午前10時～午後1時

場所 ガレリアかめおか調理室 参加者20名 参加費3000円

講師 西田浩二さん

京懐石料理「門」の亭主。

西田浩二さんは、御所での料理のかたわら、現役料理人のプロとして、桂高校で料理の授業を持ち、「料理甲子園」で優勝した教え子たちのバックアップもされています。

外食、テイクアウトが蔓延する中、皆さんに一番に伝えたいのは、西田さんのもつ一流の技術のみではなく、「料理を作ることを好きになって下さい」「料理作りはたいそうな事ではないですよ」という事でした。

和食の基本、一人一人へのお膳を作るというコンセプトの基、松花堂弁当の枠に春らしい料理の品を作りました。丹波・亀岡の特産をいかした食材で、丹波亀岡らしい京料理を習い一緒に食しました。

西田さんの細やかで丁寧な指導のもと、参加者のみなさんはとても熱心に取り組みました。

### ○亀岡ソーシャル大学（シリーズ2回）

亀岡のまちの亀岡らしさとは何でしょう？ 亀岡の貴重な素材、可能性を丁寧に検証し、色々な立場の市民が学び話し合える場としてソーシャル大学を開催しました。

それぞれの講師の専門分野の詳しいお話し共に参加者からの活発な質問もあり、大変有意義な時間となりました。

### 亀岡ソーシャル大学〈第1回〉

#### 「亀岡の流域文化と観光」

京都市の西隣に面した亀岡は、京都とは異なった独自の文化をつちかってきました。

亀岡の貴重な素材や可能性を丁寧に検証し、参加者の皆さんと、ともに熱く語り合う地元学セミナーとして開催致しました。

講師：保津川遊船 企業組合

理事長 工藤正さん

とき：平成26年9月5日（金）

午後6時30分～8時30分

ところ：亀岡市役所市民ホール 参加者30名

### 亀岡ソーシャル大学 地元学 第2回

#### 「亀岡の流域文化と観光」

10月3日（金）午後6時30分～8時30分 ガレリアかめおか 2F 大広間 参加者28名

嵯峨野観光鉄道株式会社 顧問 初代社長 亀岡観光大使

長谷川一彦さん

保津川かわまちづくり推進協議会会長

石田紀郎さん

【補足意見について】

- 1 亀岡の魅力発信に取り組む他団体との連携を模索して頂きたい。
- 2 カンパ制による参加費徴収は長期的視点に立つと継続性が弱いのではないか。定額の参加費徴収も検討して頂きたい。

1について

亀スゴっ！ソーシャル大学共に、亀岡の魅力発信する多くの団体と連携することにより成り立つ企画です。

例 亀岡市文化資料館 亀岡マルシェ 暮らしと育ちの森そらまめ、もりのわ 日本研ぎ文化振興協会

亀岡ハーブ 亀岡盲導犬協会 保津川遊船企業組合 嵯峨野観光鉄道 等と連携し、また企画時だけでなく、その後も相互の交流を深め繋ぐ役割も果たしています。

2について

「亀スゴっ！料理教室」においては、ご指摘に沿い参加費を定額徴収致しました。

**3. 効果**

実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

一年間の亀スゴっ！シリーズ6回 ソーシャル大学シリーズ2回を通し、参加者は230名を超えました。

毎回各企画とも亀岡市市外の京都市、城陽市、大阪市、高槻市、南丹市、大津市、京丹波町、能勢町からの参加者があり、全体で市外からの参加者は50名近くに上っています。

これは私たちが企画し取り上げたテーマが、亀岡市内だけの魅力発信に留まらず、広く多くの共感、関心を得るものであったことを示すものでした。

企画が終了後も私たちが亀岡の魅力として発信した情報をご覧になり、後日長野県から亀岡を訪問される観光客がおられました。みらいパスとしてメンバーがご案内させて貰い私たちにとっても大変嬉しい経験を致しました。

亀岡市民においては亀岡にいてまったく知らなかったと驚かれたり、数少ない貴重な話を聞く事が出来た、経験出来た、という数多くの感想が当日のアンケートにも寄せられています。

また、この企画に参加したことをきっかけとし、次は個人として各取組みに参加したり各現場を実際に訪れたりされる方々もおられました。単にイベント開催に終わらず、その後もそれぞれの市民が亀岡の魅力を深め、新たなネットワークが構築されていった事は成果として嬉しく思います。

例 片井鉄工所、亀岡マルシェ、楽笑会、もりのわ、日本研ぎ文化振興協会への訪問、協力関係が生まれました。

亀岡から110-ス

亀ゴッ! 京都新聞掲載記事

亀ゴッ! 第1回 片井探工を囲んで 平成26年 5月31日

全庁 2014年(平成26年)6月1日 日曜日 地場 22



### 鍬や鎌作りに感謝の心

亀岡産一の 83歳・片山さん語る

亀岡市に暮らすた... 仕事について、「農業... 人の絶対数、片井探... の機械化に伴って鍬や... さん(83)「京都」が... さんが多く売れなくなっ... 自らの命を懸かる農し... が引く、本町の活きき... が引く、本町の活きき... が引く、本町の活きき... が引く、本町の活きき...

片井さんは、亀岡で... おられる片井さんが... 亀岡産一の83歳・片山... さん(83)「京都」が... さんが多く売れなくなっ... 自らの命を懸かる農し... が引く、本町の活きき... が引く、本町の活きき... が引く、本町の活きき...

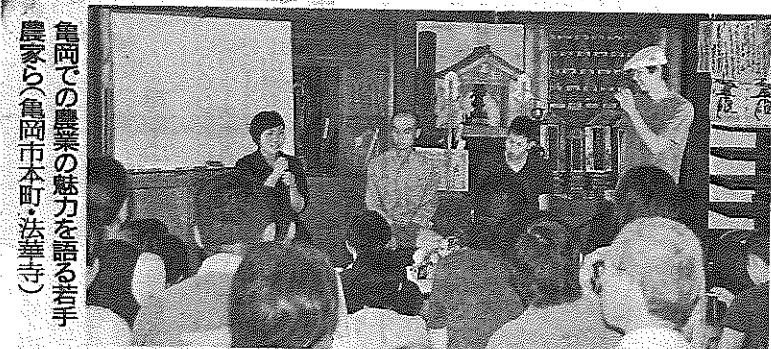


試食無料 一般  
 株式会社 福地  
**ぶっやみ**  
 魚・肉・野菜 すべて安心  
 京都府八幡町  
 0772-46-2753  
 http://www.fukuchi.co.jp

亀ゴッ! 第2回 亀岡農業若手担い手に 平成26年 7月19日

### 亀岡での農業 魅力語る

催して若手農家3人



亀岡での農業の魅力語る若手農家ら(亀岡市本町・法華寺)

の魅力を語った。  
 市民グループ「亀岡みらいパース」主催。地元で活躍する農家や職人らを紹介するトークイベント「亀スゴッ!」の二環として開かれた。

亀岡市内に田畑を持つ若手農家ら3人が、農業への思いを語る催しが19日、同市本町の法華寺であった。「京都(34)は「農業は食ベ都市や大阪市という消費地の近くで、野菜作りができるのは大きな」など、亀岡の農業がけない」と、消費者に野菜を自分で届ける取り組みについて語った。

馬路町でタマネギやナスなどを有機農法で育てている林広計さん(45)は「亀岡盆地は古代に湖だったせいか、他所と比べて土がいい」と、亀岡の良さを強調した。

(久保田昌洋)